

男性をどうやって参加させるか

1	妻が夫を誘ってくるという方法がうまくいっている 複数の妻が誘えば、夫婦の輪ができる
2	男はおしゃべりは嫌い。何かを「する」のならいい。だから「これをして」とお願いする サロンのセッティング、設備の整備、電気機器の操作や修理、写真撮影など
3	男だけのサロンならいい。それもカラオケや木工などの「する」が中心で 「飲む」のなら参加するという人も
4	空き地などで男たちが木工細工をやっていたりする。そういう場を探し出して支援 「こういうものを作ってもらえないか?」とか
5	向こう三軒両隣の気の合った者（数軒）でサロンを開いている これも夫婦一緒というのが多い
6	飲み屋とかカラオケなど市内の店舗でサロンが開かれている。それを支援へ 店舗の主人が協力的だとやりやすい
7	農家では畑、漁師なら護岸壁で、半ば仕事からみでサロンを開いている。これを支援 自然発生で不定期。さりげなく関与する
8	参加者として誘うのではなく、主催者として来ていただくなら来る これが男性の特徴。主催者やボランティアチームのリーダーとして